

よつば通信発刊に当り「つなぐ」に込めた想い

現在の日本は、少子高齢化、超高齢化社会を迎え、病院中心の医療から地域全体で支える医療への転換期にあり、地域医療の拡充が緊急課題となっています。地域医療の担い手である「かかりつけ医」には、外来診療から在宅医療、終末期医療、地域住民の疾病予防や健康づくりまで、幅広い役割が期待されています。

ただ、当院だけで出来ることは限られており、地域全体でつながることが重要です。このよつば通信をきっかけに少しでも地域のみなさんとつながることを願って「つなぐ」と名づけました。

医療で地域を「つなぐ」

コミュニケーションで人と人をつなぐ



地域医療を

未来へと「つなぐ」

医療法人設立について

《ご挨拶》

よつばクリニックは、令和4年4月1日、医療法人化により「医療法人よつば よつばクリニック」となりました。

平成26年4月の開院以来、常に地域医療への貢献を心掛けてまいりました。

今回の法人化を機に、より質の高い医療を提供できるよう、職員一同研鑽を重ねてまいりますので、今後も倍旧のご指導、ご鞭撻をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

医療法人よつば

よつばクリニック

理事長 平賀 亮



お祝いのお花ありがとうございます(*^v^)

教えて！院長先生★

院長先生のごことは、患者さんやご家族の方、業者さんだって知りたいはず。そして何より、働く私たちが知りたいんです！そこで、先生に色々質問してみました☆

Q1 血液型は？

A型

Q2 好きな食べ物は？

お肉なら何でも

Q3 今年頑張りたいことは？

ダイエット

Q4 コロナが落ち着いたら行きたい所は？

東京デイズニールランド

Q5 多忙な日々の中で元気の源とリフレッシュ方法は？

とにかく寝ることです！

Q6 座右の銘を教えてください。

為せば成る、為さねば成らぬ何事も

Q7 患者さんへメッセージをお願いします！

病気のことでだけでなく、介護や福祉のことなど、困ったことがあればどんなことでも気軽に相談してください！

私たちの BIG BOSS は
一見クールなイメージですが、
実はスイーツ好きだったり
おしゃべり好きな一面
もあるんです！





「存じですか?」「訪問診療」と「往診」の違い

医師が患者さんのご自宅や療養先に向向いて診療を行うことを「在宅医療」と呼びますが、訪問の仕方によって「訪問診療」と「往診」とに分かれます。どちらも通院が困難な患者さんに対して医師が訪問することは同じですが、具体的には何が違うのでしょうか?

在宅医療

計画的・定期的

訪問診療

医師が**あらかじめ診療の計画を立て**て、患者さんの同意を得た上で定期的に(1~2週間に1回)訪問し、診療・治療・薬の処方・療養上の相談や指導を行います。
急変時には緊急訪問に伺って入院の手配をしたりなど臨機応変に対応します。

突発的・不定期

往診

通院できない患者さんやご家族の要請を受けて医師が**その都度伺って**診療を行います。基本的に1回毎に依頼を受ける、臨時的な手段と言えます。

気軽に相談してね!



訪問診療と往診では利用する**目的が異なります**。困ったときのために、**前もってかかりつけの医師やケアマネージャーと相談し、色々な選択肢を見つけておきたいですね!**



春先に起りやすい 体調変化

- 食欲がなくなる
- 発熱
- 眠れない
- 便秘や下痢をしやすくなる
- 倦怠感
- ぼんやりしている
- 耳鳴りやめまい
- むくみ
- 関節や筋肉の痛み

対応について



季節の変わり目、とりわけ春先は体調を崩しやすい時期です!
特に高齢者のいらっしゃる**お宅では体調管理に注意が必要**な時期と言えます。不調の原因の一つは「自律神経(※2)」。
暑かったり寒かったりといった不安定な気候により自律神経の機能が乱れることで上記のような症状が現れます。

食欲がなくなると、栄養が足りず、体調不良となり、病気の悪化や体力の低下につながります
夏場の熱中症のように急激に症状が現れるのではないので、「なんとなく調子が悪いな」「疲れやすいな」というところから徐々に進行するケースが多いので気をつけてくださいね!

● 食事や水分の摂取量が減っているときは、**体調の変化がないか注意**しましょう!

果物やゼリーなど、まずは食べられるものから試してみよう。少量で栄養が補給できる栄養補助食品や、レトルト食品等を上手に利用するのも方法の一つです。

● 春先の**体調変化は、早めに相談**しましょう!

高齢者は、食べられなくなるとすぐに脱水を起こして、命の危険に関わることもあります。食欲の低下に気付いた時は、かかりつけ医や看護師に相談してくださいね。

※2 人が生きていくために無意識に全身機能を調整してくれている神経。自律神経には交換神経と副交感神経があり、日中元気に活動できているのは交換神経が優位に、夜ぐっすり眠れるのは副交感神経が優位に働いていることで1日の流れを調整しています。

編集 後記

編集長の看護師K賀と広報担当のN山です。よつば通信 創刊号はいかがでしたでしょうか。これからどんどんレベルアップしていく所存です。よろしくお願いたします。FacebookとInstagram、すたっふぶるぐでも情報発信していきますので、こちらでもフォローをお願いいたします!